

冬は暖かく、夏は涼しい
一年中、快適な暮らしを手に入れる
亀井組が作った、鳴門市大谷モデルハウス



主寝室。手前の壁にはテレビも掛けられるようになっている。



先に寝ている人に光が当たらないように配慮して、部屋の奥に設置された主寝室の書斎スペース。



子ども部屋はもちろん、ほとんどの部屋に南向きの窓があるので日中はとても明るい。



畳部屋は、梁を見せて高い天井を確保。

NEWS 宿泊体験希望者募集

亀井組では「実際に大谷モデルハウスに宿泊して、良さを感じてもらいたい」と宿泊体験者を募集中。「キッチンやお風呂、トイレも実際に使ってみてください。家の近くにはスーパーや学校やコンビニなどもあるので、今の生活スタイルとの違いも感じてみてください」とスタッフ。宿泊可能日程など詳しくは問い合わせを。



ハウスコンシェルジュ
三橋さん
見て、触れて、感じてもらえるモデルハウスが完成しました。また土地探しの相談もご対応しますので、気軽にご来場下さい。

亀井組
大谷モデルハウス

鳴門市大谷町大谷井の肩12-17の一部／0800-200-1447(徳島本店)／朝10時～夕方5時／水曜休



担当者インタビュー

「家族がいつでも気軽に会話できる
そんなイメージを思い浮かべて間取りを考えました」

「高校に入るまでのお子様は、親御様にわからないところを聞いたり、話せたりするほうが良いと思います。その答えがこのスタディコーナーです」とモデルハウス担当でハウスコンシェルジュの三橋さん。さらに「もちろん個室としての子ども部屋も間取りには組み込んでいますから、お子様の成長に合わせて部屋の使い方も変えられます。お子様はもちろん親御様の読書スペースとしても使いやすいと思いますよ」と語る。



中二階にあるスタディコーナー。リビングからのテレビの音なども意外と気にならない。



リビング入り口からの眺め。「この広さを感じて、驚くお客様も多いですよ」とスタッフ。

「亀井組が「快適に暮らせる家」をテーマに導き出した答えのひとつが、このモデルハウスです」と力強く語るのはハウスコンシェルジュの三橋さん。生活しやすい間取りで、若い人はもちろん年配の方々まで、世代を問わず毎日を楽しんでもらえるように考えられている。間取りの特徴として注目したいのは、玄関から入ってすぐにある、1階の大部分を占める広さのリビングダイニング。2階への階段途中にはスタディコーナーを設けている。2階は子ども部屋に最適な6畳ほどの部屋が2つと約12畳の広さの主寝室となっている。間取りはもちろんだが、家の中の快適空間

高い断熱効果を
生み出す
セルローズファイバー



清潔感あふれる白色でまとめられた外観。

を支えているのが、断熱材として使用しているセルローズファイバー。セルローズファイバーとは新聞紙を主原料にした断熱素材で、繊維レベルで空気層を持たせることで高い断熱効果を得られるのが特徴で、高気密高断熱住宅に欠かせない断熱素材として採用されている。さらに防音、防火、防虫に加えて調湿効果が期待できることなどもポイントだ。